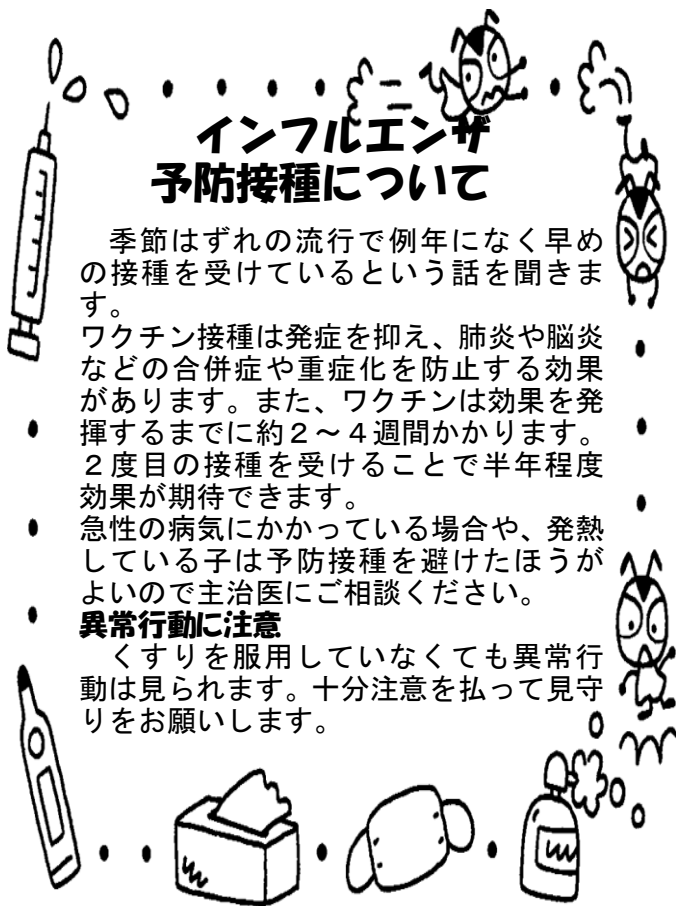




2018.11.1発行
田園調布学園大学
みらいこども園
(看護師一場峰子)

11月になり、木々の葉も美しく色付き始め、一段と秋の深まりが感じられる頃となりました。気温は1月や2月のほうが低いのに、今の時期のほうが寒く感じられるのは、体が寒さにまだ慣れていないからです。

みらいこども園では、急に熱がでたり咳が止まらないなど、かぜ症状の子が増えています。りんご病（伝染性紅斑）や溶連菌感染症の伝染病にかかっていた子もいました。これからやって来る本格的な冬に向けてじょうぶな体作りを心がけましょう。



インフルエンザ 予防接種について

季節はずれの流行で例年になく早めの接種を受けているという話を聞きます。

ワクチン接種は発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症や重症化を防止する効果があります。また、ワクチンは効果を発揮するまでに約2～4週間かかります。2度目の接種を受けることで半年程度効果が期待できます。

- 急性の病気にかかっている場合や、発熱している子は予防接種を避けたほうがよいので主治医にご相談ください。

異常行動に注意

くすりを服用していなくても異常行動は見られます。十分注意を払って見守りをお願いします。

今日は何の日!?

11月8日は「いい歯の日」

自分で歯みがきをする子も増えてきたと思います。自分でみがける子でも、最後はきちんと仕上げみがきをしてあげましょう。

11月9日は「換気の日」

「いい空気」と読ませることから換気の日と言われていています。暖房器具を使用中に換気が不十分な状態が続くと一酸化炭素中毒で意識を失うこともあります。空気の通り道をつくり、1時間に1回、5分程度の換気を心掛けましょう。

11月12日は「皮膚の日」

空気が乾くこの時期は皮膚がカサカサになったり、かゆくなったりと肌が乾燥しやすくなります。タオルでゴシゴシと強くこすらず、お風呂上がりには保湿クリームを塗りましょう。

風疹に注意

風疹が流行っているので予防が必要です。接種年齢は現在、生後12～36か月とされていますが、12～18か月に行うことをおすすめします。これにより接種前に感染する可能性が低くできます。

予防接種をすることで風疹の感染がふせげます。1回95%、2回99%の予防ができますので2回接種をおすすめします。